

**Be One**  
**レディースシェービング**  
**マニュアル**

全国 BSC 理美容協同組合 大阪府本部 監修

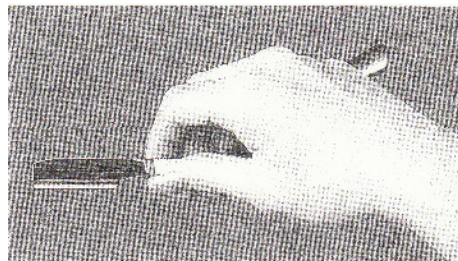
# はじめに

- 本来顔剃りと言えば理容の業務で、美容師は行えないものと思われておりましたが、理容師法の運用に関して、昭和 23 年当時の厚生省公衆衛生局長通知で『化粧に附随した軽い程度の「顔そり」は化粧の一部として美容師がこれを行ってもさしつかえない』とあり、このような法的根拠を基に美容業でもこの範囲内で、美容と理容の垣根問題にも充分配慮してビューティーシェービング技術に取り組んでいけるようになっていきます。
- より多くの女性にビューティーシェービングにより化粧ののり、または、ビーワンエステの効果をより一層高め、美しく、そしてその魅力を最大限に引き出していただくために、ビーワン・フェイシャルエステも技術プロセスの中に入れ、ビーワンシステムのビューティーシェービングとエステティックを一体としたマニュアルテキストを作成することにいたしました。
- その一方、ビューティーシェービングを取り入れる場合、十分に気を付けなければならないのは衛生面の管理であることは言うまでもありません。
- 施術を行う場合、お客様の身体に直接触れるものですから、特に皮膚感染症に細心の注意を払わなければなりません。カミソリは出来るだけ安全ガードつきのもので、使い捨てのものを使用し慎重な施術と器具の徹重な消毒が必要です。また手指感染もあり、手指は一客ごとに消毒液(パンデストップ等)をつけて消毒する習慣をつけておかなければならないでしょう。
- 美容室でお客様が皮膚感染症にかかることになれば、美容師の責任を問われることとなります。そのため美容師は皮膚感染症の予防と対策について十分な知識を身につけて、感染症を起こさないように充分留意して衛生管理を行い、仕事に携わっていただくようお願いいたします。

平成 23 年 9 月

全国 BSC 理美容協同組合 大阪府本部

# ビューワン・レディース シェービング



## 衛生管理に充分留意

- 美容の仕事は多くの人に接し、その身体にも直接触れるものですから、美容師に感染症があつてはなりません。特に顔剃りの施術を行う時、皮膚感染症には細心の注意を払いましょう。
- 皮膚感染症が起きる第一条件は病原体が皮膚に浸透することです。したがって感染症を持ったお客様に使った器具を、そのまま他のお客様に使うと病原体が濃厚に移されることになって、感染の危険性が増大しますので、器具・カミソリは出来るだけ使い捨てのものを使用し、慣重な施術と器具のパンデストップなどで厳重な消毒が必要です。
- また、器具によって感染症が起こるばかりでなく、手・指からも容易に感染が起こるものです。したがって、手指は一人のお客様ごとに安全性の高いパンデストップなどや消毒液をつけて消毒する習慣をつけておきましょう。
- 美容室でお客様が皮膚感染症にかかることになれば、美容師が責任を問われることになります。そのため美容師は皮膚感染症の予防と対策について、十分な知識を身につけ、感染症を起さないよう充分留意して衛生管理を行う必要があります。

# ビーワン・ビューティーシェービングを取り入れよう

- 日頃のサロンワークにおいて衛生・消毒面は、美容技術に欠くことの出来ない重要な部分であり、特にビューティーシェービングの施術には細心の注意を払って行わなければなりません。
- その上でお客様に、技術の全体にわたって癒しを与えるように施術します。そのためには、ビューティーシェービングに関する専門的な知識と高度な技術が要求されますが、ここでは基本的な知識をお届けします。ビューティーシェービングとして単独の技術種目ではなく、あくまでメイクアップに付随した付加価値技術として取り入れてください。

## ①ビューティーシェービングの必要性

1. メイクアップの下地として、むだ毛を剃り除き、眉・額・もみあげ・襟足を整える。
2. お客様が自己表現するベースを整える。
3. ビーワンシステムによる癒しを提供できる。

## ②カウンセリング・準備・用具

### ●カウンセリング (P. 24 カウンセリングシート参照)

1. カブレやアレルギー等の体質、健康状態等、お肌のタイプの確認。
2. 目的をハッキリ。メイクアップの下地、ブライダル、成人式等を確認。
3. 額や眉、襟足などのお客様の希望確認。

※ お客様が敏感肌の場合は、シェービングのあとにはビーワンエステを施し、肌質改善を目的とした施術をお薦めする。

※ 炎症やカブレの部位のシェービング施術はなるべく行わないといった配慮をし、ビーワンの肌質改善エステをお勧めする。

### ●準備

1. シェービングフォーム、スチームタオルを準備する。
2. ターバンをし、肩、背中、胸部分はタオル等で覆う。
3. メイクアップを落とし、スチームタオルで拭き取る。

### 1用具

1. レザー
2. シェービングカップ
3. シェービングフォーム又はレイヨネ石けんなど
4. はけ
5. タオル
6. アクアーリオなど

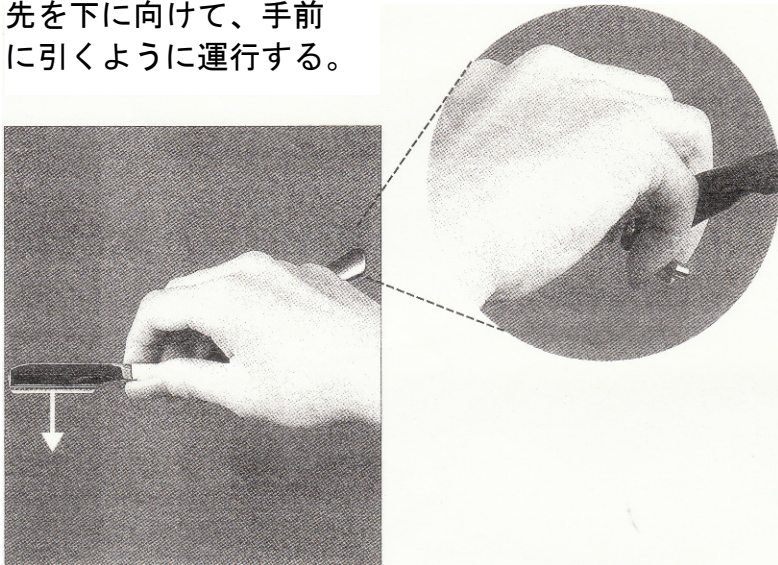
### ③レザ-の種類と持ち方

#### ●種類

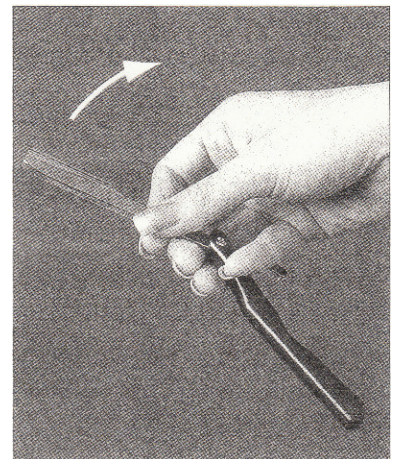
1. 替え刃式レザ-
2. 替え刃式日本カミソリ  
※ ガード付推奨

#### ・レザ-の基本的な持ち方

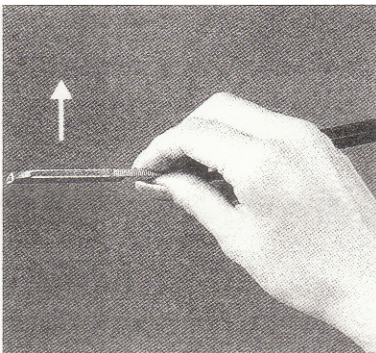
**フォワードハンド**  
基本的な持ち方で、刃先を下に向けて、手前に引くように運行する。



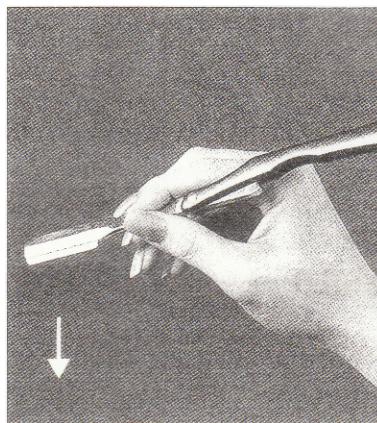
**リバースハンド**  
フォワードハンドと同じ持ち方で、刃先を上に向けて持つ。



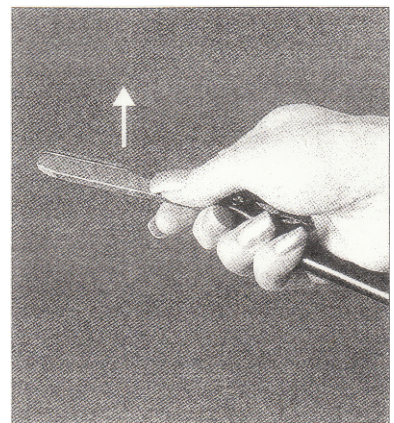
**ターンハンド**  
フォワードハンドの持ち方から、手首を返して刃先を向こう側に向けて持つ。



**ペンハンド**  
刃先を下に向けて、鉛筆を持つように持つ。



**シェイクハンド**  
刃先を手の甲側に横に向けて持つ。



## ④基本技術と要領

1. 立つ位置は顔面を中心にして、リラックスした姿勢を取る。(マスク着用)
2. レザーは軽く、しかもしっかり持ち、レザーが手の一部になるようにする。(ゆるまず、硬くならず)
3. 添え手の動きが安全性、快適性、仕上がりに大切な役割を果たす。

## ⑤レザーの運行角度・速度・添え手

1. 対皮角度…45度近くで、硬毛の場合は20度近くまで角度を小さくする。
2. 斜行角度…毛流の方向に45度以内で剃る。
3. レザーの運行速度は1ストローク1秒～2秒が標準である。  
○早いと＝お客様が危険を感じる。  
○遅いと＝お客様が不安を感じる。
4. 添え手は左手によって皮膚をシェービングに適する状態に導くことを目的としている。  
レザーの運行方向と逆の方向に引くのが原則である。

## ⑥フォーミングの目的と作用

1. 皮膚及び毛を柔軟かつ清潔にする。
2. 毛の抵抗を和らげレザーの運行を容易にする。

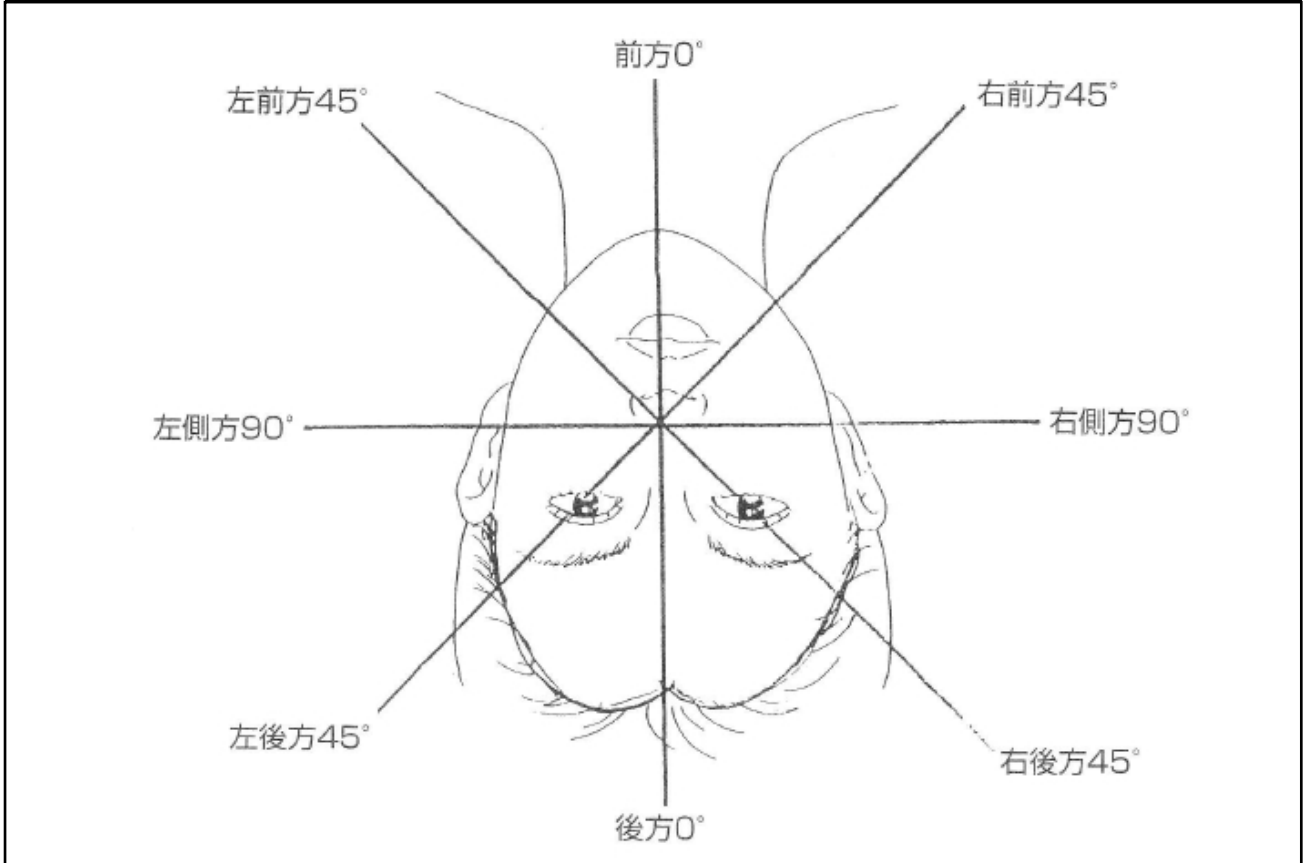
## ⑦スチーミングの目的

1. 温熱を与え皮膚及び毛を柔軟にする。
2. 知覚神経に対する刺激をやわらげる。
3. 皮膚の老廃物やほこり、化粧品等の汚れを拭き取る。

## ⑧ビューティシェービングの基本テクニック

ビューティシェービングの基本的なテクニックを紹介します。

### 技術者の位置



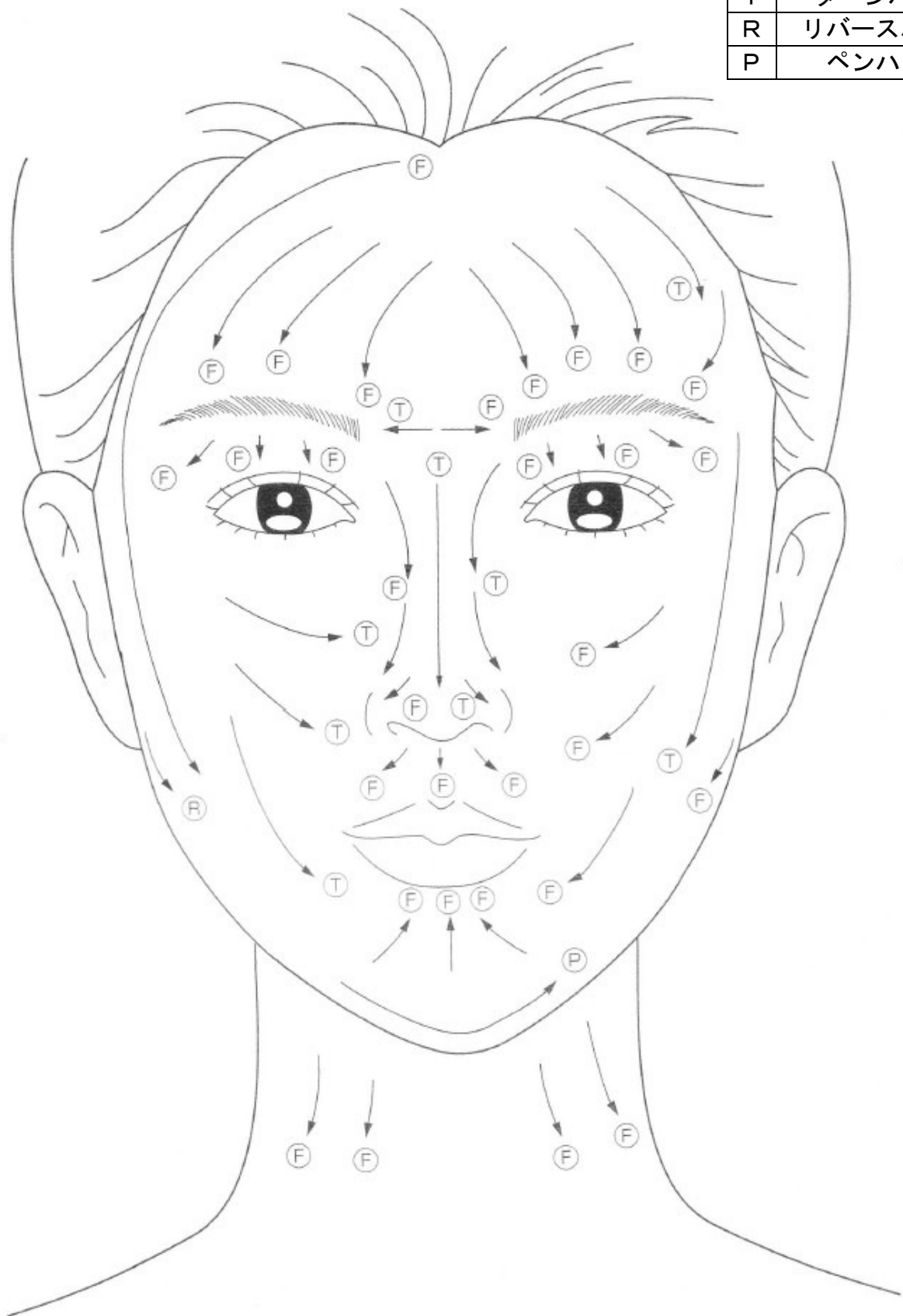
### 頸部



## ⑨部位によるレザーの持ち方と運行方向

化粧に関連して必要な部位のシェービングを行う。

F	フォワードハンド
T	ターンハンド
R	リバースハンド
P	ペンハンド



◎ 剃り残した部分は、温湯をつけてチェックする

# ビューティーシェービングプロセス



## ① 用具一式

1. レザー(安全ガードつき)
2. シェービングカップ
3. シェービングフォーム  
(レイヨネホホワイトソープなど)
4. ハケ(フォーム塗布用)
5. エステタオル(5~7枚)
6. 化粧水など(アクアリーオなど)
7. 眉カット用ハサミ
8. 眉用コームブラシ

